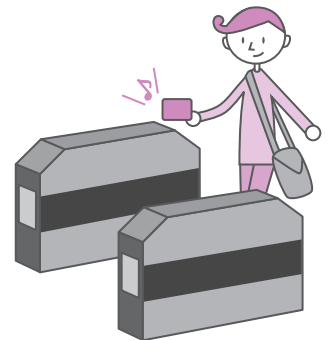


ご存じですか？

電子マネーって何？

発行総額が今や1兆円を超え、その便利さから私たちの生活に広く普及している電子マネー。電子マネーを利用することで、電車の切符を買わなくても改札を通過できたり、スーパーやコンビニで小銭を使わず手軽に支払いができます。

しかし、便利になる一方、よく理解せずに利用してしまったことで、後で契約トラブルとなる場合もあります。電子マネーを利用する前にそのメリットとデメリットをよく考え、正しい知識を持つようにしましょう。



電子マネーとは

電子マネーとは、一般的に金銭的な価値を電子情報化したものを言い、利用者は受け取った物やサービスの対価を電子マネーで支払うことができます。電子マネーには次の2つの種類があります。

IC型

ICチップを記録媒体にし、入金（チャージ）することができる電子マネーをIC型といいます。ICチップはカードや携帯電話などに搭載され、いわゆる「電子マネーを入れるお財布」となります。決済方法には、前払式（プリペイド）と後払式（ポストペイ）の2種類があります。

サーバー型

あらかじめコンビニなどで電子マネーのID番号が入った専用カードを購入すると、電子マネー発行会社のサーバー上に電子マネーの残高情報が記録されます。これが「インターネット上にある電子マネーのお財布」となり、利用者は加盟店サイトでID番号を入力すれば、ネットショッピングでの決済を行うことができます。電子マネー発行会社ホームページにID番号でログインすると、残高照会やチャージなども可能です。

電子マネーのメリット・デメリット

メリット

- お金を数える手間なく簡単に支払い、おつりも受け取らなくてよい
- 鉄道会社やバス会社が発行する交通系の電子マネーなら、切符を買わなくても、すぐに改札を通過できる
- 前払式の電子マネーは審査不要で匿名性がある
- ポイントをためることができ、店によっては割引サービスがある
- 利用限度やチャージ金額の設定によって使いすぎない工夫ができる
- パソコン、レシートなどで利用履歴が把握できる場合、家計簿代わりになる

デメリット

- 前払式は事前にチャージが必要
- 一度電子マネーに変えると、再現金化できないのが原則
- 前払式はチャージ限度額が少額なので、高額商品が購入できない
- 各社の電子マネーに互換性がない
- 前払式は紛失や盗難などの際、交通系以外はほとんど補償されない
- 複雑な契約関係や電子情報のやり取りを経るので、トラブル発生時に解決に手間取る